



(清水建設提供)

福岡ロジスティクスセンターは、同社が運輸、不動産、流通、レジャーサービスなど、地域に根差した事業を展開している九州で物流事業としてのフラッグシップ。

この施設は福岡空港の貨物地区、福岡都市高速、博多港へ近い。

航空・海上輸送サービスの提供に適した立地に戦略的に位置づけた。

この立地優位性を活かし、サービスの充実・品質の向上を図ることで、九州発着の輸出入貨物の取扱いを拡大する。

“精密機器”“冷蔵輸送”にターゲット

今後成長が見込まれる特定の取扱品目（半導体・自動車・食品）をメインターゲットとして九州でのプライチェーンの最適化を図る。

温度調整機能を備えた冷蔵倉庫を有しており、生鮮食品・生花などの保管が可能となった。西鉄運輸と協働し、保冷保管・保冷輸送を繋げたコールドチェーンを構築することで、西鉄グループにおけるシナジーを追求し、アジアを始め世界で需要のある九州の農水産物、酒類の輸出拡大に寄与する。

また、航空・海運・倉庫業務などの各部門が入居することで全てのモードでの物流ニーズに柔軟に対応できるような体制を整えている。

「大手の半導体関係の会社も今後、たくさん進出してくる。精密なものを取り扱うことをこのロジスティックセンターで推進していく。」-国際物流事業本部・北村本部長（2022年現在）

